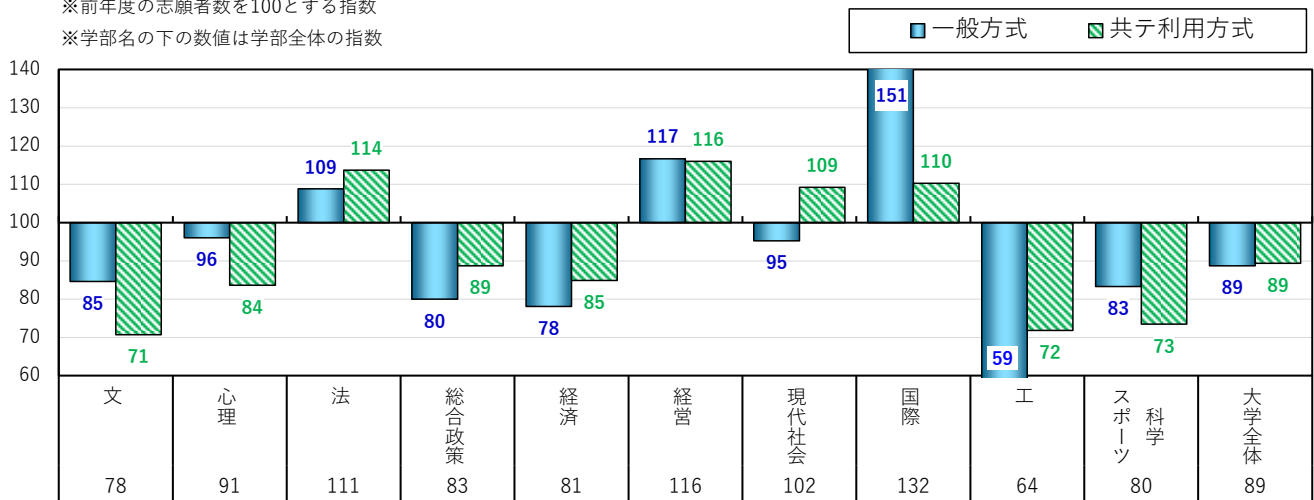


中京大：大学全体では3年連続減少、減少6学部中5学部が大幅減少 一般：-1,942人 共テ：-1,337人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点 試験会場：全学部<一般・後期F方式>…富山会場、岡山会場除外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,279人(89)の減少で3年連続減少。学部別では、10学部中で6学部が減少。工(64)、文(78)、スポーツ科学(80)、経済(81)、総合政策(83)の5学部が大幅減少、特にスポーツ科学は2年連続大幅減少。一方で、国際(132)、経営(116)はいずれも2年連続減少の反動で大幅増加。方式別では、一般方式は1,942人(89)の減少で3年連続減少。共通テスト利用方式は1,337人(89)の減少。

<一般方式>

- 文(85)**は、大幅減少。志願者数は6年ぶりに1,500人を下回った。2019年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、3学科全て減少。特に、(日本文)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(歴史文化)(83)は大幅減少で3年連続減少。
- 心理(96)**は、やや減少で3年連続減少。方式別では、3月募集の<後期・F方式>(88)が減少。
- 法(109)**は、6年ぶりに増加したが、2017年度対比では20%以上の減少率。方式別では、2月募集の<前期・M方式>(125)は大幅増加。
- 総合政策(80)**は、2年ぶりに大幅減少。2019年度対比では半減以下。方式別では、2月募集の<前期・A方式>(74)、<前期・M方式>(79)はいずれも大幅減少。
- 経済(78)**は、大幅減少で3年連続減少。2020年度対比では45%以上の減少率。志願者数は8年ぶりに1,500人を下回った。方式別ではいずれも大幅減少だが、3月募集の<後期・F方式>(58)が減少率40%以上。
- 経営(117)**は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。方式別では、2月募集の<前期・M方式>(128)、<前期・A方式>(119)はいずれも大幅増加。一方で、3月募集の<後期・F方式>(89)は3年連続減少。
- 現代社会(95)**は、やや減少で3年連続減少。専攻別では、増減が2専攻ずつ。(現代社会/社会福祉学)(117)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(現代社会/社会学)(82)は3年連続大幅減少。
- 国際(151)**は、大幅増加で2020年度の改組後初めての増加。志願倍率が19倍を上回ったのも3年ぶり。専攻別では、5専攻中4専攻が増加。特に、(言語文化/複言語・複文化学)(189)、(言語文化/英米学)(178)は激増。一方で、唯一減少の(国際/国際人間学)(99)は2人のみの微減。
- 工(59)**は、大幅減少。学科別では、4学科全てが大幅減少。特に、メディア工(51)、情報工(55)、機械システム工(59)は減少率40%を超える大幅減少。電気電子工(72)は3年連続大幅減少。
- スポーツ科学(83)**は、2年連続大幅減少。学科別では、5学科中4学科が減少。減少の4学科は全て大幅減少で、(競技スポーツ科学)(63)、スポーツ健康科学(79)はいずれも減少率20%を超える大幅減少。一方で、(トレーナー)(108)は増加だが前年度半減近い大幅減少の反動は小さかった。

<共通テスト利用方式>

- 文(71)**は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は1,000人を下回り、志願倍率は6年ぶりに20倍を下回った。学科別では、(日本文)(66)、(歴史文化)(73)、(言語表現)(75)と3学科全てが大幅減少。
- 心理(84)**は、前年度増加の反動で大幅減少。方式別では、全ての方式でも減少。特に、3月募集の<共テ・後期>(39)は激減で、志願倍率3.0倍の低倍率。
- 法(114)**は、前年度やや増加に引き続き、2年連続増加。志願者数は4年ぶりに1,200人を上回った。方式別では、<共テ・プラス>(150)が大幅増加。
- 総合政策(89)**は、減少。方式別では、<共テ・前期2・3科目型>(73)は大幅減少。一方で、<共テ・前期4・5科目型>(115)は大幅増加。国公立大併願者に狙われたことと、私立大専願者の共通テストへの敬遠傾向がうかがえる。
- 経済(85)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2020年度以降前年度の反動による増減が継続。方式別では、<共テ・プラス>(106)のやや増加を除くと、2月募集の<共テ・前期2・3科目型>(73)、<共テ・前期4・5科目型>(85)は大幅減少。3月募集の<共テ・後期>(73)も大幅減少。
- 経営(116)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2020年度以降前年度の反動による増減が継続。方式別では、<共テ・プラス>(122)は大幅増加。2月募集の<共テ・前期4・5科目型>(161)は前年度大幅減少の反動で激増。一方で、<共テ・前期2・3科目型>(95)は2年連続やや減少。3月募集の<共テ・後期>(104)は2年連続やや増加。

- 現代社会(109)**は、前年度やや増加に引き続き、2年連続増加。ただし、2021年度の大幅減少の影響で、2020年度対比では約35%の減少率。専攻別では、増減が2専攻ずつ。(現代社会/コミュニティ学)(158)、(現代社会/国際文化)(128)といずれも大幅増加。一方で、(現代社会/社会学)(80)は大幅減少、(現代社会/社会福祉学)(98)は微減。
- 国際(110)**は、2年連続増加。専攻別では、5専攻中3専攻が増加。(言語文化/複言語・複文化学)(148)、(国際/国際政治学)(146)、(言語文化/英米学)(130)は全て大幅増加。一方で、(国際/国際人間学)(64)、(国際/国際経済学)(84)といずれも大幅減少。
- 工(72)**は、前年度増加の反動で大幅減少。2019年度対比では40%を超える減少率。学科別では、4学科が全て減少。(電気電子工)(99)は微減だが、これを除く3学科はいずれも大幅減少。特に、情報工(59)の減少率が最も大きく、志願者数が7年ぶりの400人台。
- スポーツ科学(73)**は2年連続大幅減少。学科別では、5学科とも大幅減少。特に、(スポーツ健康科学)(63)の減少率が最も大きく、前年度激増の反動で減少率は35%を上回った。